

要約貸借対照表

(単位：千円)

科目	金額		科目	金額	
	第63期 平成29年3月31日現在			第63期 平成29年3月31日現在	
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,744,611		流動負債	2,626,482	
固定資産	8,129,503		固定負債	4,973,103	
有形固定資産	6,692,277		負債合計	7,599,585	
無形固定資産	78,673		(純資産の部)		
投資その他の資産	1,358,552		株主資本	2,343,704	
繰延資産	76,407		評価・換算差額等	7,232	
			純資産合計	2,350,936	
資産合計	9,950,522		負債及び純資産合計	9,950,522	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

要約損益計算書

(単位：千円)

科目	金額	
	第63期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
売上		7,022,081
売上原価		1,399,284
売上総利益		5,622,797
販売費及び一般管理費		5,440,796
営業利益		182,000
営業外収益		30,469
営業外費用		156,309
経常利益		56,160
特別利益		17,083
特別損失		46,489
税引前当期純利益		26,754
法人税、住民税及び事業税	23,615	
法人税等調整額	△ 15,183	8,432
当期純利益		18,322

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

SD エンターテイメント株式会社

〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番地
TEL 011-241-3951

第63期 報告書

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

SD エンターテイメント株式会社

事業の状況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響もあり、不安定な要素を抱えつつ推移しました。

このような環境の下、当社の経営の基本方針である「皆様の『けんこう (KENKOU)』をつくり、「えがお (EGAO)」と「かがやき (KAGAYAKI)」と「ありがとう (ARIGATOU)」を創造し続け、世界中に広めます。」のもと、経営の効率化を図り、一層の収益力の強化に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、ゲーム事業及びフィットネス事業において店舗閉店による影響があったものの、シネマ事業の好調やゲームの新規店舗の売上寄与に加え、前第2四半期連結累計期間に連結を開始した子会社の売上がフルに寄与したことなどがあり、82億81百万円（前連結会計年度比1.0%増）となりました。

営業利益及び経常利益については、第3四半期連結累計期間は、子会社において新規事業である放課後デイサービス及び一般保育事業のための開業準備費用の負担など販売費及び一般管理費の押し上げ要因などもあり、前第3四半期連結累計期間を下回ってまいりました。

一方で第3四半期連結累計期間の低迷を打開すべく、当社における一番の繁忙期である第4四半期連結会計期間に、フィットネス事業部において移転オープンしたSDフィットネス津藤店が不成功のスタートを切ったこと、ゲーム事業部において新型クレーンゲーム機の集中投入による効果が大きく、14四半期おりにゲーム事業の売上がプラスに転じたこと、創業99周年プレセール企画による生涯ボウリング投げ放題プラン等の効果があったこと等により、営業利益は1億88百万円（同42.4%増）並びに経常利益は52百万円（前連結会計年度は経常損失34百万円）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、第3四半期連結累計期間までは、営業利益及び経常利益と同じく低調に推移しましたが、第4四半期連結累計期間は、前第4四半期連結累計期間を大きく上回り、20百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失94百万円）となりました。

事業部別の概況

(GAME事業部)

GAME事業部につきましては、平成28年5月に新規店舗として「ディノスパーク音更店」を出店し好調に推移したことによる増収に加え、「艦これアーケード」等ヒットゲーム機の導入や早朝営業開始による増収がありました。

また、コンサルティング起用の成果や大量導入した新型UFOキャッチャーの効果により、プライズゲームジャンルの売上については前連結会計年度を上回り、比較的好調に推移しました。

しかしながら、「ディノスパーク守山店」（平成27年9月）、「ディノスパーク四万十店」（平成28年5月）及び「ディノスパーク丸亀V.A.S.A.L.A店」（平成28年7月）の閉店による減

収、並びにネットキャッチャー事業の運営方法の見直しの為の営業休止（平成28年12月）等の影響などにより、売上高は22億27百万円（前連結会計年度比2.1%減）となりました。

(フィットネス事業部)

フィットネス事業部につきましては、「スピンングバイク」、「UBOUND」（トランポリン）、「ホットヨガ」、「エアリアルヨガ」など立地に合った設備機器の導入により競合店と差別化するなど、見学会率の向上及び退会率の減少のための改善努力を行い、在籍会員数が増加しました。また、プロテインなどのオリジナル商品のラインナップを拡充し「プロテインバー」を併設させるなど販売強化に努めた結果、物販売上が増加しました。しかしながら、「SDフィットネス新所沢店」の閉店（平成28年3月）及び優良店である「SDフィットネス津店」の新築移転に伴う2ヶ月間及びお休業などが減収要因となり、売上高は20億66百万円（同6.4%減）となりました。

(ボウリング事業部)

ボウリング事業部につきましては、前々期から推進しているLTB（ボウリング教室）を拡大し、トーナメント、リーグへ繋げたことや当社専属のプロボウラーによるジュニア教室を開催し顧客増を図りました。また、一部店舗においてキャッピングライトシステム（レーン上のLED照明が空間を華麗に演出するシステム）の導入や投げ飲み放題の実施、人員増による渉外活動の強化をしました。

しかしながら、8月の相次ぐ台風上陸の影響による予約団体のキャンセルや10月及び12月の記録的な大雪の影響によりお客様が車での外出を控えたこと、また平成27年12月に札幌市内にオープンした競合店の影響などにより、売上高は10億80百万円（同8.9%減）となりました。

(施設管理事業部)

施設管理事業部につきましては、「シネマ」部門において、映画業界では2016年度の興行収入が2,355億円と前年度から8.5%増となりました。当社では、「君の名は。」や「ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅」などの充実したラインナップでヒット作品に恵まれ堅調に推移しました。また、札幌劇場において本格的なカフェを併設し、飲食売上げが増加したことや、12月下旬に1スクリーン増設したことなどにより、売上高は9億86百万円（同8.0%増）となりました。「その他」においては、売上高は2億64百万円（同4.2%減）となりました。

(その他)

その他のカフェ事業等につきましては、ネットゲーム用にハイスペックパソコンの導入や一部店舗において一人用カラオケブースの設置などを実施しました。また、グループ子会社による介護事業及び通信テレマーケティング事業等の運営が、前連結会計年度は、第2四半期連結会計期間から連結しましたが、当連結会計年度は、第1四半期連結会計期間からフルに寄与したことにより、売上高は16億56百万円（同23.5%増）となりました。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	金額		科目	金額	
	第63期 平成29年3月31日現在	第62期 平成28年3月31日現在		第63期 平成29年3月31日現在	第62期 平成28年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,173,412	1,545,691	流動負債	3,119,829	3,075,297
現金及び預金	1,454,344	847,919	買掛金	292,272	286,123
売掛金	355,269	331,002	短期借入金	67,900	120,270
商品及び製品	43,433	37,635	一年内償還予定の社債	979,200	812,800
原材料及び貯蔵品	82,276	89,499	一年内返済予定の長期借入金	555,423	659,804
繰延税金資産	80,950	64,115	一年内返済予定の長期未払金	197,752	100,860
その他	158,409	177,589	リース債務	225,041	202,305
貸倒引当金	△ 1,272	△ 2,070	未払金	473,190	547,840
固定資産	8,198,961	8,101,695	未払法人税等	29,789	58,749
有形固定資産	6,751,072	6,496,710	ポイント引当金	16,608	8,900
建物及び構築物	3,153,244	2,958,696	その他	282,651	277,643
機械装置及び運搬具	42,316	34,658	固定負債	5,015,399	4,492,910
アミューズメント機器	238,124	279,840	社債	2,471,500	2,028,200
工具、器具及び備品	150,374	128,553	長期借入金	1,687,592	1,768,929
土地	2,670,817	2,670,817	長期未払金	233,861	145,562
リース資産	494,069	415,144	リース債務	310,257	255,033
建設仮勘定	2,125	9,000	繰延税金負債	63,507	57,047
無形固定資産	221,810	232,474	資産除去債務	161,800	148,466
のれん	142,266	164,872	その他	86,881	89,671
その他	79,543	67,601	負債合計	8,135,229	7,568,207
投資その他の資産	1,226,078	1,372,510	(純資産の部)		
投資有価証券	24,049	25,878	株主資本	2,306,319	2,138,616
長期貸付金	185,837	122,254	資本金	227,101	155,403
差入保証金	922,483	1,133,587	資本剰余金	1,935,305	1,862,581
その他	93,707	90,789	利益剰余金	153,597	133,289
繰延資産	76,407	65,519	自己株式	△ 9,684	△ 12,657
社債発行費	76,407	65,519	その他の包括利益累計額	7,232	1,025
			その他有価証券評価差額金	7,232	1,025
			新株予約権	△	5,058
資産合計	10,448,781	9,712,907	純資産合計	2,313,551	2,144,699
			負債及び純資産合計	10,448,781	9,712,907

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	金額	
	第63期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第62期 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上	8,281,501	8,198,881
売上原価	2,061,334	1,859,975
売上総利益	6,220,166	6,338,905
販売費及び一般管理費	6,031,695	6,206,567
営業利益	188,471	132,338
営業外収益	21,557	13,945
受取利息	2,009	2,372
受取配当金	913	780
アミューズメント機器売却益	8,501	1,599
受取保険金	4,046	7,132
雑収入	6,085	2,060
営業外費用	157,649	180,764
支払利息	75,922	78,029
社債保証料	24,567	24,260
社債発行費償却	21,480	20,135
アミューズメント機器処分損	12,761	28,314
雑損失	22,918	30,025
経常利益又は経常損失(△)	52,378	△ 34,480
特別利益	38,187	50,928
固定資産売却益	367	-
投資有価証券売却益	2,319	2,672
受取和解金	4,259	4,000
移転補償金	4,350	-
補助金収入	11,936	16,890
資産除去債務戻入益	3,699	-
新株予約権戻入益	3,747	244
長期預り金戻入	7,509	-
違約金収入	-	6,039
保険解約返戻金	-	19,213
事業譲渡益	-	1,868
特別損失	46,827	84,630
固定資産売却損	172	673
固定資産除却損	7,586	44,321
減損損失	29,468	34,982
耐震工事関連費用	9,600	-
投資有価証券評価損	-	3,997
店舗閉鎖損失	-	655
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	43,739	△ 68,183
法人税、住民税及び事業税	33,667	34,324
法人税等調整額	△ 10,236	△ 7,609
当期純利益又は当期純損失(△)	20,307	△ 94,898
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	20,307	△ 94,898

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。